

雜 錄

●財經調查會に於ける製鐵保護問題

製鐵及び造船に關する答申案内容の精査は其後漸く進捗して既に製鐵保護の原則を承認せり、而も製鐵問題審議中委員會の最も頭腦を悩せしは關稅引上の件也、明治四十四年の改正に係はる鐵材輸入關稅は一割五分の見當なりしも、其後時勢の進歩と大戰争の影響を受け、今日の該關稅は從價五分に相當するに過ぎずして毫も内地製鐵保護の精神を發揮し居らず、蓋し從價五分てふ關稅は、世界各地到處に行はるゝ單なる手數料にして保護貿易と名くべき性質のものにあらざれば也、是に於てか政府も民間の意嚮を察し製鐵造船に關する根本的政策を樹立すべく、財經調查會に諮問答申を求めたる次第也、即ち現在の我製鐵事業資金は三億圓にして、造船等の鐵需要額の約二分の一を製造供給しつゝあり、從つて進んで自給自足を實現せんには、政府も民間も製鐵業には大發奮を要し、造船業の如き、例令多少の不利を忍ぶも大局の打算よりして關稅引上に賛同せざるを得ざるべく、斯くて製鐵業側にては從價二割を要求したる模様なれど造船業側との妥協に依り多分一割五分に歸着すべく期待せらる、米國は世界鐵需要額の半を製造し居るには拘らず、猶且つ一割五分の關稅を實行し、我國と

製造能力を等しうする伊太利、瑞典に在りては三割若くは四割五分、又はそれ以上の關稅を課して、製鐵業を保護し居るの現状なれば、我財經調查會の一割五分要求は、政府も採納し、議會も大なる支障無くして通過せしむるに至らんか、尙ほ財經調查會は十二月の議會召集前に總會の審議を終り、政府に答申の手續を執るべしと云へり。

●英人の北樺嶺山採掘出願 在支那英國嶺山組合が浦鹽政府に向つて北樺太の未開掘官有嶺山採掘特許權を請願したと云ふ報道は浦鹽方面に於て非常な刺激と注目を惹いて居るが右英國組合が今回浦鹽致府商工省に提出した請願條件は左の如くである。

一、炭礦採掘及び鑛區用途に必要な機械物質及び貨物の輸入に對して關稅其他の課稅を爲さざる事並に石炭の輸出に課稅せざる事。

二、炭礦採掘業に必要な建築物鐵道敷設其他の設置に要する禁地區内に屬する地所は無償を以て提供すること尙海岸の地域に於ても此權能を與ふる事。

三、請願者は採掘又は炭礦業の必要に應じ禁地區に於ける木材を利用し無償を以て材木伐採の權を與へらるゝものとす。

四、以上特權附與に對し組合は露國政府の薩哈噠港渡しにて賣價を標準として露國政府以外のものに賣却せし全石炭の三バセント（一封度に就き）を支拂ふ義務を負ふ事。

尙石炭量の限度に於て市場の相場を以て供給する義務を負ふ事

最後に該會社は補則として左の如く附記した。

抑本件はダロンウエデル會社代表者と千九百六年當時主權者に立ちし各露國代表者との間に行はれ來れる交渉の連續にして從來の交渉は各政府より應諾の意嚮を示されたるも政情の變化の爲に遂に確定的契約を締結するに至らざりしものなりと。

右英國組合の請願に對し商工省は左の如く回答したり。

本省は原動的に薩哈噠に於ける利權を附與するの事情を有せず、從つて本問題の交渉には契約條件を作成するの事情を感せず、唯本省は根本條件として利權附與の期間を廿六箇年と定む、尙炭坑採掘經營法は國有禁令區全部にあらずして其一部とす、又山林を利用する件は現行規定及將來發表すべき規定に準據するものにして結局切株税を徴取するものとす。

●北海道製鐵業の前途

歐洲戰亂開始後時局の擴大と共に鐵材の消費遽に大増加を示したるを以て價格は左の如く大正七年七月には百十一割一分二厘方の激騰を告げたり。(單位圓)

月別	三年	四年	五年	六年	七年
一月	四一	四一	六〇	八五	三二〇
四月	四〇	四六	八五	一八〇	三六〇
七月	三九	四三	七五	三〇〇	五〇〇

雜錄

十月 四六 四二 七二 三一〇 三五〇
備考 三年以降六年四月迄は標準クリブランド噸當り相場にして六年七月以降は品不足を告げしため漢陽銑鐵相場を以てせり。

斯て朝野一齊に鐵需要の必要なるを痛切に感得し生産獎勵大に励めしと鐵價の昂騰は製鐵採算上有利なれるが爲め北海道に於ても戰時新設されし銑鐵製造の大會社は左の三會社にて之に既設日本製鋼を加ふれば四社を算するに至れり。(資本單位千圓)

會社名	設立年月	資本金	拂込金	銑鐵噸數	爐數
日本製鋼	明治四〇、二	三〇、〇〇〇	全額	一一〇〇	一一三
江別製鐵	大正 七、五	一、〇〇〇	七五〇	一〇〇	一一
後志製鐵	同 八、五	三〇〇	全額	二〇	一一
登別製鐵	同 七、九	五〇〇	全額	一五	一
備考	日本製鋼は作業關係より大正六年一月製鐵部を獨立し資本金千五百萬圓にて北海製鐵を設立したるものなるが更に八年十二月兩社合併せるものなり。				

内地に於ても既設會社の大擴張及新設を見たる爲め產額は年々増加し昨年末は七十八萬四千噸の巨額に達せり。三年以降の產額及輸入數量左の如し。(單位噸)

年別	銑鐵製產數量	輸入數量
三年	三〇〇、二二一	一六七、〇六一
四年	三一七、七四八	一六四、七二二
五年	三八八、六九一	二二九、二九六
六年	四八九、二五二	二二九、五四八
七年	六三八、六八〇	二二一、五四八
八年	七八四、四四八	二七八、六五二

即ち產額は三年に比し八年末は十六割一分二厘強の產額増加にして内北海道產量は十五萬八千噸と全國生産量に對し

二割一分を占むるを思は、北海の本邦製鐵上に於ける地位を熟知するに足るべし、翻つて之を世界銑鐵產額に見んか左の如し。(單位千佛噸)

年別	產額	年別	產額
三年	六二、〇八五	四年	六三、八九三
五年	七三、三九七	六年	七〇、八八八
七年	六四、三六八	八年	—

年別	米	國	英	國	獨逸	日本
八年	三九、五五二	五六五五	四、六四二	七八四		
七年	三九、〇五四	九、〇七二	一一、五七〇	六八三		
六年	三八、六二一	九、四二〇	一二、九三一	四八九		
五年	三九、四三四	九、〇四七	一二、九七九	三八八		
四年	二九、九一九	八、七九三	一一、六〇一	三一七		
三年	二三、三三二	九、〇〇五	一四、一六八	三〇〇		

產額最も増加せる本邦八年產額を世界七年全產額よりすれば僅々一分二厘四毛に過ぎず、更に之を英、米、獨三國に對比すれば著しき軒輊あり即ち左の如し。(單位千佛噸)

是に於て平將來國防上よりするも製鐵自給上よりするも產鐵の増加を圖らざるべからざるに七年十一月休戰以來鐵の價格は左の如く暴落に次ぐに暴落を以てし加ふるに世界的金融梗塞財界動搖にて本年三月以降内地需要減退せるため現在北海道に於て操業を繼續せるものは只日本製鋼あるのみにて然も其れとて二基爐を休止し居れるを以て本年產額は十萬噸に減少するなるべしと豫想せらる昨年以降の銑鐵相場左の如し。(單位圓)

八 年 九 年

一月 一九五 四月 一三五 一月 一二〇 四月 一五〇
七月 一三〇 十月 一二〇 七月 九〇 十月 八〇

價格低落の結果生産費比較的高きものは採算不引合より製銑を中止し亦市價に比し生産費低きものと雖も消費減退に依る生産過剰となるを慮り所謂市價調節上操業を短縮し居れるも市價の前途を察すれば近時銀塊相場四十五片支那爲替六十三兩に印度爲替百八十六留比と昂騰し居れるは以て支那漢陽及タタ、ベンガル等よりの輸入を促すの虞あり、此秋に方り能く其等外鐵と市場に對抗し得べきは當に日本製鋼一あるのみ蓋し是れ九州に存在する製鐵所は石炭を有するも原礦なく、東北にあるものは礦石を有するも石炭に缺くる等各一方に偏重せるに日本製鋼所は此點に於て兩者を享有すればなり、而も同社と特別の關係ある俱知安鐵礦の含有量は五十乃至五十二パーセントなれば他礦に比し優良なるに其埋藏量は五百萬噸にて日本一の稱あり、若し夫れ萬一の場合を考慮せんか現在の鐵道原礦輸送制限一日六百噸を撤廢するに於ては其產鐵能力の増加は易々たるものなれば將來鐵價にして相當なる値段を維持すれば北海道に於ける製鐵業は石炭原礦を共にする上に於て最も有利有望なる事業と謂ふべし。

●世界石炭需給 石炭の世界的需給關係如何の問題は重大なる意義あること言を俟たざる所なるが今其實狀を數字に徴せんに、近年の統計實數より推算せる各國の平常年

産額及び消費額左の如し。(單位千噸)

國名	產出量	消費量
合衆國	六三〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇
英國	二三〇、〇〇〇	二二〇、〇〇〇
獨逸	一一九、〇〇〇	一一二、〇〇〇
佛蘭西	三六、〇〇〇	六〇、〇〇〇
伊太利	一四、四七四	一二、〇〇〇
白耳義	六、〇〇〇	一二、〇〇〇
波蘭	二、〇四〇	一三、八七二
奧地利	一七、五〇〇	一五、〇〇〇
並ニユーゴスロバツク	四、〇〇〇	六、八四九
西班牙	二、四〇〇	一〇、二〇〇
和蘭	五〇〇	三、三〇〇
丁抹	一三、〇〇〇	五、九〇〇
端典	一〇、〇〇〇	二、二〇〇
諸威	一〇、〇〇〇	一、三九〇
葡牙	一三、〇〇〇	三〇、〇〇〇
加奈	一〇、〇〇〇	六、〇〇〇
アルゼンチン、ブラジル	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
オーストラリア	五、二〇〇	三六、五〇〇
其他	一、一〇二、一四	一、一七〇、二一一
合計	七二、〇九七	

右各國の産額と消費額との差は夫々平常輸入額若くは輸出額を示す。即ち英國は戦前二億五千萬乃至二億八千萬噸の年産額ありしを以て表中の數字は二千萬乃至五千萬噸の減少を呈し、輸出噸二千萬噸は産出額の十分の一以下にあれば戦前の實狀はコークス其の他の代用燃料四分の一、更に外國行船舶の石炭庫中の蓄藏量を合算すれば産額の三

分の一を占めたるものなり。之れを實數の上に見れば外國行船舶石炭庫の蓄藏量を除きたる輸出數量は一九一三年には七千三百四十萬噸なりしが、一九二〇年の見積りは前表平常輸出量を之れに代へて二千萬噸に過ぎざるなり、翻つて米國を見るに其の發展の趨勢は英國との對照に於て甚だ顯著なるものあり、試みに其の近年の輸出額を擧ぐれば左の如し。(單位千噸)

一二年	一七、六八九	一六年	二二、六二八
一三年	二〇、七〇九	一七年	二四、一六九
一四年	一九、六六四	一八年	二五、八九四
一五年	一八、〇九五	一九年	二二、四一三
二〇年上半期	一四、〇一八		

(紐育ガランテリ、トラスト會社最近調査に依る)

斯くて米國は英國の地位を奪はん形勢を示せども英國は尙本品貿易上殊に有利なる條件として大陸諸國の市場に接近し居れるの故を以て充分米國に拮抗し得との自信を有するが如し。

前表中獨逸に關する數字は一九一九年の産出量を基礎として推算したるものなるが同年の産出量はローレン及ザール地方を除きて一億千六百萬噸なれば現在多少の増加を見積られ居る譯なり、而して右數字中には勿論割讓せられたる領域の産額及び需要額を加算し居らざると同時にスパー會議の結果佛伊等に引渡さるべき年額三千四百萬噸を含まず、若し表中に示す七百萬噸が通常の形式にて輸出せられ

得るものとするも前記二千四百萬噸が外國に奪はるゝ事は獨逸國內消費量の大節減を必要とすべきものなれどもスバシ會議の結果の文字通りの實行には疑問あり、従つて引渡さるべき數量甚だ不確實なるを以て之れを計算に加へ居らざるものなり。

諸上表に依れば明年度の世界的總不足額は七千二百九萬七千噸なるべく、更に英米等に於て同盟罷工の如きが行はるゝに於ては需給の不均衡を更に甚しくすべし、然るに一方石炭に代るべきもの亦甚だ貧弱なり即ち石油は既に缺乏を訴え、木材燃料は諾威瑞典等にて相當廣く使用せられつゝあるも效用は限られ居り、水力電氣は石炭に窮乏する諸國就中瑞典、伊太利等に於て相當進歩せるも之れとて石炭不足の困難を來さざる内に充分發達の域に達す可しとは信ぜられず、斯くて燃料問題は今や焦眉の重大問題たるは言を俟たずして米國の如き石炭產出國として次に示す如き優越せる地位を占むるに拘らず尙昨今水力電氣の發達に依りて動力不足の脅威より脱せんと企てつゝあるが如し。近年の世界年產額と米國の占むる割合とを示すに左の如し。

年 度	世界產額	米國の占むる割合
一八七〇年	一三六、七四〇	一四・〇%
一八九〇年	五六三、七〇〇	二七・九
一九一三年	一、四四三、四〇二	三九・五
一八一八年	一、四四九、〇〇〇	四五・五

(單位千噸)

一九一八年 一、四六一、〇〇〇 四七・六
斯く米國の產額は年々健實なる歩合を以て増進し來り今や世界總產額の約半數を占むるに至り第一の表に示す如く輸出餘力は相當大なるも之を各國に割り當つるに於ては幾何もなし全世界の最小需要量を満たすにも今後世界各國の協同努力を要すること頗る大なるべし。

●ロイド權限擴張 我國に於て新船を建造するに當りて其の設計圖を倫敦又は紐育に送付し若しくは技師を派遣してロイド船級協會の承認を経ざるべからざりし爲め建造着手迄には數ヶ月を要し船主及造船業者は尠からざる不利不便を感じたり、從來ロイド船級協會は橫濱、神戸、長崎、函館に堪能なる検査員二十三名を配置し鋭意検査事務に従事しつゝありしが、今回更に同協會北米合衆國及加奈陀検査副長エツチ、ジェー、コックス氏を神戸に赴任滞在せしめ新船設計に際しては同地事務所又は造船所に出張の上設計者に直接協議し直に承認せしむることに其の權限を擴張せり、近時大に發展せる本邦海運造船界は此の世界的設備に依り更に大なる發展を見るに至らんと。

●最近就役の新戦艦 本年十二月一日より艦隊に編入就役すべき大戦艦長門を始め十年初頭よりの就役新艦は輕巡天龍、龍田、球磨及び一等驅逐艦峰風、澤風、矢風、沖風、羽風、二等驅逐艦樺、梨、竹、榎、榮、楯、榆、柿特務艦知床、能登呂等の計十九艦なるが目下艤装工事を急

ぎしつゝある。

輕巡大井(神戸川崎)同多摩(長崎三菱)同北上(佐世保工廠)大型特務艦襟裳(神戸川崎)同作多(横濱船渠)一等驅逐艦島風、灘風、汐風(以上舞鶴工廠)二等驅逐艦荻(浦賀船渠)菊(神戸川崎造船)葵(神戸三菱工場)

並に二十七日進水すべき藤(大阪藤永田造船)以上十二隻も亦十年度中(十年三月末日迄)に何れも竣工就役の運びとなるべく斯くて十年度の竣工新艦は總數大小三十一隻を算し更に目下起工中なる

戰艦加賀(神戸川崎)同土佐(長崎三菱)巡戰天城(十二月十五日起工横須賀)同赤城(吳年内起工)輕巡木曾(佐世保)同五十鈴(浦賀船渠)同長良、名取(長崎三菱)同由良(佐世保)一等驅逐艦風風、夕風、帆秋、波風、清風、輕風、(長崎三菱)同太刀風、野風、沼風、濱風、旋風、大風(舞鶴工廠)二等驅逐艦薄、蓬、萇、芭蕉、海棠、躑躅、杜若(石川島)同葛、葦、澤、瀉、桔梗、刈萱、百合(神戸川崎)同菱、蓮、牡丹、菖蒲、(浦賀船渠)同蕨、蔘、柴陽、柴苑、撫子(藤永田造船)

以上の四十五艦及び特務艦尻矢(横濱船渠)航空母艦鳳翔(淺野造船)の四十六隻外に若干の潜艦砲艦は十年度内に於て大半就役の運びとなるべき豫定なりと聞く。

●製鐵振興策討議 工政會にては去月十七日午後五時より日本工業俱樂部に例會を開き鐵需給問題調査委員會

決議案報告あり次で關稅政策に依らざる製鐵保護政策並に關稅政策施行の爲め將來我邦製鐵事業振興の見込ありや將た原料供給の見込ありや等に付き討議する處ありたり。

●瑛瑯鐵器狀況 瑛瑯鐵器は戰時中支那若くは印度

方面の輸出旺盛を極め戰後殊に財界變動以來歐洲品恢復したると、支那に於ける排日により爲替關係益々惡化せる爲め原料品は幾分の低落となりたるも工賃は依然として低下せず輸出益々不況にして各工場に於ては半休業狀態に陥り居れりと云ふ。

●製鐵所追加豫算要求 八幡製鐵所擴張事業は九年度に於て完成の筈の所、歐洲戰亂勃發して英米其他諸國の機械類製作及輸出の制限船腹の缺乏一般工業の勃興に依る勞力の不足並に内地注文機械類製作の遅延其他の影響を受けて工事材料蒐集の困難に陥り豫定計畫を進捗せしむること不可能の狀態に陥り爲めに逐次事業の遅延を爲さざるべからざる羽目となりたるを以て新に既定計畫を改定して大正十一年度迄に完成することとし工事を進め來りたるも十年度支出額八百萬二千餘圓、十一年度支出額五百四十二萬三千餘圓にては物價騰貴の影響を受けて豫定計畫を遂行すること困難となりたるを以て更に追加要求をなすに決したり。

●製鐵所の厚板工場作業開始 八幡製鐵所にては海軍省よりの八八艦隊製艦材料注文引受製造の爲め第三期

擴張工事の一として第二厚板工場を先年來本門入口左側空地に廣大なる同工場の建設中昨今に至り漸く竣成し目下其れが作業試験中なるが愈來る二十四日頃公式の運轉開始を見るの豫定なり、然る上は長さ十六呎、厚さ六吋の純製艦用厚板を製出するに至るべし。

●鐵線材活況 鐵界悲況のため八幡製鐵所は線材工場の操業を縮少し生産を制限して居つたが近來建築工業、造船業等の諸工業稍活況を呈して來たので製鐵所から線材供給を受けて洋釘を製造して居る安田製釘所の如きは從來の需要額より約五百噸を増加し其他の線材使用工業會社の需要もまた増加し去月十三日以降兩三日間に製鐵所販賣部の賣約せるもの千百噸に及び價格も稍や反撥氣味である。

●日本工業俱樂部開館式 大正七年三月より大工事に着手し、此程漸く完成した、東京驛前の財團法人日本工業俱樂部會館の新築開館式は去月廿五日午後四時より舉行された。外觀も構造も又室内裝飾、設備等も美觀を極め、完備を極めてゐる定刻に至り大會堂に於て理事團琢磨氏司會の下に式は開かれ、技師横河博士に對する功勞表彰もあつて式後の來賓會員五百名の大晚餐會には原首相が激勵的の所感を述べた。

●大阪の勞銀低落 大阪商業會議所調査に係る市内九十一種の職工人夫の勞働賃銀に就て見るに七月の平均指數を一〇〇とすれば十月平均指數は一〇一・一四にして前

月に比し〇・二五(二厘五毛)の低下を示せり即ち騰貴十七種低下十六種保合五十八種なり賃銀下落の重なるものは刷子、貝釦、洋傘、製革、經師、大工、農作人、電燈工夫、請負工等にして騰貴せるものの主要なるもの左の如し。

職工		賃銀	指數
鐘錶	詰	二、〇二	一六八
機械	女工	一、三〇	一四四
煉瓦	車	二、二七	一〇〇
荷車	木	三、〇〇	一一五
植木	仕	二、八〇	一一二
仲仕	工	二、八〇	一九〇
通信	工	一、六八	一一一
砲兵	傭工	二、一七	一一〇

●英國鐵市況 最近當市着倫敦發電に據れば爾來漸落の歩調を辿り來れる英國の最近鐵市況は依然として一般的に非常に不振にして商内皆無の姿なるも製造家の腰は案外強く依然高唱へなるも目先共に暗澹たるを免れず之が最も近因としては勞働問題の紛糾相次で起れる影響と見る可し又對岸大陸市場は非常に安値を唱へ居りて現狀にては英國市價とは此間相當の値開きあり割安の見込みにて英國は兎まれ大陸の如き目先相場は尙一段下向き狀勢に在りて歐洲鐵市場の近き將來は今日の處海外市場の展開を俟つ外無き狀態に在りと云ふ可きが目下大體相場次の如し。(神戸沖値)

クローブランド百二十七圓 ▲厚物鋼板二百二十五圓 (英國) 二百四圓(大陸) ▲八分の一乃至十六分の一板二百六

十七圓(英國)二百三十九圓(大陸)薄板(二十七枚モノ)三百七十二圓▲亞鉛引板四百三十五圓▲鐵力(百七封度モノ)二十六圓五十錢▲棒鐵百九十五圓五十錢

以上相場は目下内地市價に比し之れと同様神戸沖値にして鋼板類は尙英國の大體五十圓高となり、棒鐵亦三十圓以上の値開きあり、亞鉛引板及び鋳力の如き殆ど内地相場に出合ふ迄低落を示せり、一時内地市價に倍加せるが如き英大陸の相場激落は斯くして漸次接近し來りたり。

●紐育金物市況 紐育に於ける金物市場は買手勢力を恢復して來て相場の値下げを要求して居る生産者側は競争して新規注文を取らん爲めに思ひ切り安くして居る。

鋼鐵 一般市場の相場はユーエス、スチール會社の賣値に接近して來た。

銑鐵 コークス一噸に付九弗に暴落せしを以て鐵市場は狼狽して居る相場は引續き安きも一向に買氣を唆るに至らない、尤も輸出商は今後も相場安ければ海外市場に於ける外國品と競争することを得べしとの望みを懷いて居る。

銅 一時十四仙四分三と云ふ安値を見せたるも其後多少見直した、生産者は最早相場も底入ならんと稱して居る佛蘭西は四百萬封度の銅を買付た又多大の在庫品が輸出向きに賣却されたとの噂の眞否に關し一切言明を避けて居る。

錫 最初は稍好氣配なりしも其後引緩んだ之は倫敦相場が安い爲めである。

鉛 市況小康、需要は極めて不活潑で、輸入高は多大である。

亞鉛 鈍狀手持品を多量に抱擁し居るものは聖路易渡一噸に付六弗七十仙にてオツプアーして居るが望み手は皆無である。

安質母尼 更に活氣無し。

●米鋼鐵價維持 最近紐育發電、米國鋼鐵會社長ゲリ氏聲明、同社は同社諸製品賣價の標準改正を大藏省より許可せらるゝ迄、従前の條件にて供給を繼續すべしと。

●獨逸鋼鐵輸出 最近某所着電によれば從來英米兩國の鋼鐵供給地たりし南米及玖馬市場に獨逸製品輸入され相當需要ある見込なるが今後繼續して輸出能力を有するや否やは疑問なるも、米國は獨逸の製造工業に對し特殊の關係あるを以て何等影響する處なきも英國工業界は相當打撃を蒙るべしと。

●鐵類市況 東北地方の需要者は例年冬期に於て鐵道輸送の不圓滑となる可きを見越し前月頃迄に殆ど鐵類仕入を終了したるを以て此後當分纏まりたる需要を喚起す可き好材料なく従つて目先相場の強調を期待し難きのみならず追々歳末に接近せる事として金融關係も懸念せられ旁今月初旬頃迄丸棒並に吋物六圓二十錢鐵板六圓見當と各品を通じて強調を現し居りたるもの昨今再び軟調に陥り即ち丸棒並吋五圓七八十錢、鐵板五圓五拾錢、薄板拾圓捌み薄板十三

枚入壹圓二十五錢、針金八番八圓、釘三五物拾八圓、鉞力百七十封度物參拾壹圓、鉞力百封度物拾七圓、平板壹圓十錢見當に低落せり、因に内地に於ける鐵類在荷は一時約三十五六萬噸と稱せられしも其後海外輸入の減少に依り目下大阪へ五萬噸、東京四萬噸、神戸十萬噸、横濱十萬噸其他に一萬噸合計約三十萬噸見當に減少せりと云へり。

銑鐵は輸入全然杜絶したれども市中在荷は尙過多の聲あり併し需要期の事とて且つ素人筋の思惑物は殆ど投げ了り唯金融關係に依る極少量の投物を見るに過ぎざれば相場は地場は大體釘付模様なるがレール類は鐵道工事電車事業等見送りの爲め需要全く起らず相場多少下押したり、而して目先は本月に入り投物の多少に依り決せらるべさが先づ格別の動搖なかるべし。

●鑛物文明展覽會 文部省が主催となりてお茶の水東京教育博物館に於て大正十年、自三月二十一日至五月二十日、左記の趣旨及規定にて鑛物文明展覽會を開催せらるゝ由なり。

開催趣旨 近世の文化が自然科学の發達進歩に俟つ所頗る多い事は明かな事實で、鑛物の研究利用の如きは其の最重要なものの一つであります。故に若し今日の文明から鑛物の應用を除き去つたならば非常な惨じめなものと成つて終うであります。然るに此の文化に至大の關係ある本邦の鑛業並鑛物應用の工業は近時異狀の進歩を見ただけでも

之を他國に比べると尙未だ貧弱幼稚の域を脱せず到底其の比でありません。隨て重要な鑛物並鑛物製品で海外の輸入に仰いて居るものが甚だ勘ぐないのであります。されば將來一層鑛物の研究を盛にして其の生産を豊富にし且つ之が利用に關する知識を普及して其の消費を一層經濟的ならしめ以て國運の進展に寄與せしめる事は極めて必要の事と思ひます。鑛物の研究は斯の如く國家の重大問題であるに拘らず由來本邦人は之に對する研究の趣味に乏しく比較的之を閑却して居た様な感があります。今回本館が特に鑛物文明展覽會を開いて人類が鑛物利用の次第や最近に於ける其の進歩した研究利用に關する參考品を蒐集陳列して公衆の觀覽に供し且つ之に關聯した通俗講演會等を催して民衆の啓發に資せんとするに至りました動機は畢竟之に外ならないのであります。

陳列品種別

一 人類鑛物利用の歴史 石器時代、青銅器時代及鐵器時代に於ける鑛物製品並其の原料製作使用の狀況

二 未開民族の鑛物利用 鑛物製器物、貨幣、裝身具等の製作使用の狀況

三 鑛業並鑛物應用工藝發達の歴史 採鑛、冶金、鑄造、鍛冶、金屬細工、製陶等に關する設備作業の狀況及製品同上事業功勞者の業績、諸鑛物發見利用の年代及價格の變遷

四 重要鑛產物の世界的分布 各國生産額比較並本邦輸入額、本邦特産鑛物

五 重要鑛物採取精製法最近の進歩 採鑛、採炭、採油の設備及方法金屬の精鍊並石油精製の設備及工程

六 合金の製造利用最近の進歩 諸金屬の理化學的性質比較、各種合金の性質用途、特殊鋼、發火性合金等

七 金屬品製造最近の進歩 鑄物、鍛工品、鍍金製品等の製造工程及製品、銲接術の進歩金屬製品の生産輸出入額

八 日用金屬製品の取扱 製品の良否鑑別並保存、金屬用塗料、錆止め並金屬磨

九 鑛物中毒 鑛毒の原因及豫防、家庭及工場に於ける鑛物中毒の原因及豫防

一〇 稀有鑛物利用の發達 ラジウム、タングステン、モリブデン、オスミウム、セリウム、トリウム等稀有元素を含む各種鑛物と其用途、溫泉療法

一一 機械器具の製造上鑛物應用の進歩 機械、器具、船舶、航空機、自動車及武器等の製造上各種金屬及鑛石の應用、鑛物應用と機械器具の効率及耐久性の増大、諸鑛石の理化學的性質の比較

一二 窯業最近の進歩 陶磁器、硝子、瑠璃、セメント、煉瓦等の製造工程及用途、窯業製品の保存並取扱上の注意

一三 鑛物性染料、顔料、藥品等最近の進歩 染料、顔料

塗料、醫藥、工業藥品、化粧品等の製造工程及用途、同上製品及原料の生産輸出入額、品質の良否並經濟的消費

一四 鑛物性肥料最近の進歩 加里窒素及磷酸肥料の製造工程並用途、空中窒素の固定工業、鑛物肥料の生産輸出入及消費

一五 鑛物性燃料利用の進歩 石油、石炭、石炭瓦斯等の消費額、品質の良否鑑別及取扱上の注意、各種燃料の有効的消費、液體燃料利用の發達

一六 鑛物性食物飲料 製鹽法の進歩、飲料水の品質及供給、天然鑛水、人造鑛水及人造氷等

一七 被服裝身具材料として鑛物利用の發達 防火衣、鑛物利用裝身具、天然寶石及人造寶石等

一八 土木建築裝飾材料として鑛物利用の發達 各種土木建築裝飾用の石材及金屬製品、同上加工法の發達、品質の良否鑑別及保存上の注意

一九 内外國に於ける鑛物教育並鑛物研究の狀況及其の參考品

出品規定

一 出品申込期日は大正十年一月二十日限りとし、同日迄に出品申込書を本郷區お茶の水東京教育博物館に送附せられたい

二 出品申込書には品目、數量、陳列所要面積其他陳列上必要な事項を記入せられたい

三 出品物の搬入及陳列は大正十年三月三日から同月十五日までのこと

四 出品物の運搬費は總て出品者で負擔すること但特別の事情あるものは此の限りでありません

五 出品物の保管には十分の注意を致しますが、天災、火災等不慮の災害による損失に對しては其の責に任じません

六 陳列用の飾棚、規き函等は本館に備付けてあります別に使用料を要しませぬ

●特許

前號報告後鐵鋼に關係あるものを摘録すれば左の如し。

第三六〇二八號

大正六年十二月三十一日出願
大正九年三月二十二日特許
許權者東京府
大日本電球株式會社

タングステン其他類の難熔性金屬の處理法

發明の性質及び目的の要領 本發明は酸素に對する強大なる結合力和高度の化合熱を有する還元劑を使用しタングステン其他類の難熔性金屬の化合物より之等の金屬を還元し迅速に熔融せしむることを特徴とする方法に係り其目的とする所は簡易なる手段により直に難熔性金屬を迅速に鑄造し得せしめ殊に純粹三酸化タングステンより機械的加工原料たるタングステンを得るに適せしむるに在り。

特許請求の範圍 一、本文所記の目的を達せんが爲め本文に詳記せる如く強大なる酸化に對する結合力和高度の化合熱を有する還元劑とを使用し之れに點火して生ずる高温の熱と電氣爐にて生ずる電熱と相待てタングステン其他類の難熔性金屬を還元し迅速に熔融せしむることを特徴とする方法 二、本文所記の目的を達せんが爲め本文に詳記せる如く電氣爐内に處理すべき金

屬と還元劑とを混合裝填し該爐は還元性瓦斯を滿せる外函内に置き以て處理する第一項所載の方法 三、本文所記の目的を達せんが爲め本文に詳記せる如く電氣熱と化合熱とを共同せしむべくせる第一項所載の方法 四、本文所記の目的を達せんが爲め本文に詳記せる如く容器には純粹金屬の棒狀固形體を樹立し其周圍に處理すべきと金屬還元劑とを混合作用せしむべくせる第一項所載の方法。

第三六〇四四號

大正八年五月一日出願
大正九年三月二十五日特許
特許權者兵庫縣
大嶺無煙炭鐵株式會社

熱風爐

發明の性質及び目的の要領 本發明は中央に隔壁を有して相隣接せる如く同一構造の二箇以上の燃燒瓦斯發生室を設け各燃燒室の上部にダンパー付排煙口を設け更に該室の上部に熱氣貯藏室空氣混和室を順次設備し之れを燃燒瓦斯輸送筒に連續せしめ各熱氣貯藏室と燃燒瓦斯發生室と相通ずる所にダンパーを設置したる構造に係り其目的とする所は各燃燒瓦斯發生室を同時に又箇々別々に使用せられ且つ燃料焚火の始めの不純物を一切燃燒瓦斯に混淆せしめず成る可く純粹なる完全燃燒瓦斯を收得せんとするにあり。

特許請求の範圍 一、本文所載の目的を以て本文に詳記し別紙圖面に示す如く中央に隔壁を有して相隣接せる全く同一構造よりなる二箇以上の燃燒瓦斯發生室を設け各燃燒室の上部に排煙筒に連續する途中にダンパーを付したる排煙口を設け且つ各熱氣貯藏室の底部に開閉自在のダンパーを附設し該室の上部に數箇のスクリーンを設置せる空氣混和室を接續し空氣混和室を燃燒瓦斯輸送筒に連續せしめたる熱風爐の構造 二、本文所載の目的を以て本文に詳記し別紙圖面に示す如く燃燒室壁を波狀又は適宜の形狀に凹凸せしめ熱氣貯藏室のダンパーにカウンタウエイトを附設したる前項所載の熱風爐の構造。

第三六〇六二號

大正七年五月十八日出願
大正九年三月三十一日特許
特許權者英國マルサーア

鐵筋木材製造の改良

發明の性質及び目的の要領 本發明は鐵筋の兩面に木材を重ねて張合せたる鐵筋木材の製造法の改良に係り中心に挿入すべき鐵筋の目を填充するに酪素

膠と木粉と練り合はせたる物質を以てすることにより之に木材を張合はす爲め壓搾を加へらるる際に鐵筋が木地の中に喰ひ込むことなき如くしたる鐵筋木材製造法にして其目的とする處は鐵筋の爲に木地が害せられざるを以て一面に於て張合せ用の木材を節約し得べく一面に於ては其仕上りたる鐵筋木材は堅牢度耐久性及可撓性に於て遙かに能率を増加し依て彎曲板材、筒狀函材類用に最適する鐵筋木材を製造するに在り。

特許請求の範圍

一、本文所載の目的に於て本文に詳記したる如く被覆木に心木を定着せしめたる層木間に鐵筋を挿入するに當り層木の心木面上に鐵筋を配置し酪素膠の如き耐濕粘着料と木粉との混和物を加へて鐵筋の目を填充することを特徴とし此の上に他の層木を重合して希望の厚さにし之に漸加壓力を加ふることにより鐵筋木材を製造する方法 二、本文所載の目的に於て本文に詳記したる如く層木間に挿入する鐵筋を構成する經緯の線が心木の正目と四十五度の角度を保つ如く配置したる前項記載の鐵筋木材製造法 三、本文所載の目的に於て本文に詳記したる如く被覆木及心木を共に樅木又は共に横木にして双方の正目を平行する如くしたる第一項及第二項記載の鐵筋木材製造法 四、本文所載の目的に於て本文に詳記したる如く鐵筋を木材の縁外に露出せしめ該鐵筋の露出部を以て二箇の鐵筋木材連結用に使用し得る如くしたる第一項乃至第三項記載の鐵筋木材製造法 五、本文所載の目的に於て本文に詳記したる如く耐濕粘着料として酪素膠を使用する第一項乃至第四項記載の鐵筋木材製造法 六、本文所載の目的に於て本文に詳記したる如く三箇以上の層木を使用し之に適宜二箇以上の鐵筋を挿入したる第一項乃至第三項記載の鐵筋木材製造法 七、本文所載の目的に於て本文に詳記し別紙圖面に圖示したる通り構成する第一項記載の鐵筋木材製造法。

第三六一〇二號

大正八年十月十六日出願
大正九年四月七日特許
特許權者英國ハ、ヘ、ボサツク

金屬鑄塊を型に鑄造する方法

發明の性質及び目的の要領 本發明は熔鋼又は他の金屬を鑄塊又は類似の型に鑄造又は注入するに先づ熔金屬を保有する柄杓又は容器より金屬を型内を垂直に動き得べき嚮導柄杓又は器に移し其より金屬を型の下部に移すことより成り其目的とする所は型に注入する時の金屬の飛散を防止し出來得るだけ金屬の酸化及斯の如き飛散及現在の注入又は鑄造方法に依る金屬の品質下落

を減少せんとするにあり。

特許請求の範圍

一、本文に詳記する如く熔鋼又は他の金屬を鑄塊又は類似の型に鑄造又は注入するに先づ熔金屬を保有する柄杓又は容器より金屬を型内を垂直に動き得べき嚮導柄杓又は器に移し其より金屬を型の下部に移すと。二、本文に詳記する如く鋼又は他金屬を鑄塊又は類似の型に鑄造又は注入するに全然型を上下に通過する様適當に爲せる垂直に動き得べき柄杓又は器に由りて型の底又は其附近にて型に熔金屬を移すこと 三、本文に詳記する如く金屬が型中に高まると共に柄杓又は器が型中を上昇し金屬の表面に近き所に移らしむる請求範圍第二項の柄杓又は他の器より鋼又は他の金屬を鑄造する方法 四、本文に詳記する如く金屬を型底又は其附近にて型中に移らしめ金屬が其中に上昇するに従ひ其の表面に近き所に移し沈靜頭に於ける金屬を高度の液狀に保持し其の上部の回りに眞空を保持して沈靜頭より高熱金屬を鑄塊に給付することよりなる鋼又は他の金屬を柄杓又は他の器より鑄造する方法。

第三六一七八號

大正八年八月十七日出願
大正九年四月十五日特許
特許權者米國ナショナル・マレアップル・キヤスティングス會社

連鎖の鑄造法及裝置

發明の性質及び目的の要領 本發明は三箇の連鎖の模型部分の周圍に鑄砂を充たし型の上篋を引上げ之れに充されたる砂型を取出して中間の連鎖を造るべき模型部を曝露せしめたる後此模型部を取出し下篋中の砂型と密着せしむべく上篋中に上記の砂型を再び装入し次に之れと同様に上記の模型部と一致する他の模型部を取出して全鑄型の半分を完成せしめたる後同様に造られたる他半分の型を合致せしむべく取付る所の連鎖の鑄造法及其裝置に係り其目的とするところは完全に於て有效なる連鎖の鑄造法及其裝置を得るにあり。

特許請求の範圍

一、本文に詳記せるが如く三箇の連鎖の模型部分の周圍に鑄砂を充たし型の上篋を引上げ之れに充されたる砂型を取出して中間の連鎖を造るべき模型部を曝露せしめたる後此模型部を取出し下篋中の砂型と密着せしむべく上篋中に上記の砂型を再び装入し次に之れと同様に上記の模型部と一致する他の模型部を取出して全鑄型の半分を完成せしめたる後同様に造られたる他半分の型を合致せしむべく取付る所の連鎖の鑄造法 二、本文に詳記し添付圖面に示す如く重置せられたる一對の型篋を有し三箇の連鎖に

對する模型部を下筐中に取付け中間の連鎖の模型部は他の二箇の連鎖の模型部の面と直角面中に装設せられ上筐は下筐中に下部の型を形成したる後此下筐の頂面上に突出せる模型部を取外さしむべく取離さるる構造られ且下型の底より殘餘の模型部を取外さしむる装置を具ふる所の連鎖の鑄造装置。

第三六三三三號

大正八年四月十二日出願
大正九年五月七日特許
特許權者米國フ、ス、クーパー

合金

發明の性質及び目的の要領 本發明はニツケル又はコバルトとアルミナム、シリコン及びジルコニウムとより成る工具用合金に係り其目的とする所は從來の高速度鋼に比して價格一層低廉なる工具用合金を得んとするにあり。

特許請求の範圍 一、本文所載の目的に於て本文に詳記する如く主としてニツケルを含む外箱はジルコニウム、アルミナム及びシリコンをも含む合金。
二、本文所載の目的に於て本文に詳記する如く主としてニツケル或はコバルトを含む外箱はアルミナム、シリコン及び〇・五乃至一五%のジルコニウムを含む合金 三、本文所載の目的に於て本文に詳記する如く主としてニツケルを含む外箱は〇・五乃至二〇パーセントのジルコニウム〇・五乃至一二%のアルミナム及び〇・五乃至一〇%のシリコンを含む合金。

●獨逸製鐵値下

伯林より最近市内某所に達せる情

報に據れば去る四月十六日デュッセルドルフに於て製鐵業者、販賣業者、消費者の各代表者七十名を以て組織せる製鋼業組合は國內製銑、鋼材等を管理し販賣價格の公定をなし居れるが、該公定價格は棒鐵一佛噸に付き五月、三千六百五十馬克、六月、三千二百馬克、七月、二千八百四十馬克、十月、二千四百馬克と改訂せるが、更に近く右價格の引下をなすべく協議中なれば近く其改訂を見るべし。但し製鋼用銑鐵はアルサス、ローレンの割讓に依りて他より割高なる原鑛を輸入せざるべからざると、爲替關係上馬克價

額の暴落にて原鑛の購入も不利なるため依然千六百馬克、ヘマタイト千九百十馬克の相場を維持し居れり、故に鐵鑛價格は當分其變更を見ざるべしと。

●英國鐵材不評

英國にては曩に東洋方面よりの新規鐵材注文の杜絶したる關係上、平坂工場の一部閉鎖を實施したるも更に本月十三日關係筋への入電によれば單に平板工場のみならず一般鐵材工場の約半數は閉鎖又は事業短縮の餘儀なきに至りたるが、右は主として戰後歐洲大陸の生産品に壓倒せられたる結果にして、大陸方面が戰後堅實なる生産品の下に價格の如きも英國の二百三十圓に比し、百六十圓見當なるを以て輸出向としては到底大陸筋の競争に堪へず、殊に戰後英國輸出品は著しく粗製濫造に陥り、我國の鐵物商が倫敦駐在領事館及商務官の手を経て粗製品に對し、曩に警告をなしたるも、製品は依然として米國及大陸品に劣り居るを以て、最近我國にては大陸品の輸入を試みたるが、若し今後の輸入を大陸方面及び米國にのみ仰ぐ事とせば英國の東洋輸出は愈々絶望に歸すならんと云ふ。